

【承認した地域産業活性化計画の概要】

「台東区地域産業活性化計画」（台東区） 【計画期間:令和6年度～令和8年度】

本区は、ものづくりをはじめとする多業種の中小企業が集積する地域として発展してきたが、近年、事業所・従業員数ともに減少が続く。主要な地域産業である「ファッションザッカ」産業は、コロナ禍を契機とした消費者動向の変化に直面している。こうした中、資金面・ノウハウ面や連携・交流の機会の創出など、中小企業の経営状況に応じた支援を行うとともに、大河ドラマというチャンスに官民一体で取り組むことで、事業者間のつながりを促し、積極的に挑戦する企業が集まる活発な地域産業を目指していく。



台東区産業フェアから誕生したコラボ商品



台東ファッションZAKKA祭2023



(1) 多様な主体の協業・参画を促し地域産業を成長させる事業

区内企業同士の交流・協業を促していくことで各社及び地域産業を成長させる（台東区産業フェア、大河ドラマ「べらぼう」活用推進）

(2) 中小企業等の自己変革への挑戦を促進し地域産業を成長させる事業

主要な地域産業であるファッションザッカ産業に携わる中小企業が新しい取組に挑戦する多様な機会を提供するとともに、大河ドラマを契機とした新商品開発やその他個社の変革を促す複合的な支援体制を整備する（ファッションザッカフェア、中小企業アドバンスサポート、大河ドラマ「べらぼう」活用推進）

「大田区地域産業活性化計画」（大田区） 【計画期間:令和6年度～令和8年度】

ものづくり企業の集積を特徴としている本区にとっては、ものづくり産業の集積の維持・発展は、最重要課題である。羽田空港跡地に整備された羽田イノベーションシティを中心に、産業集積の維持・強化、ファブレス企業やものづくりベンチャー等の新産業の創出や高付加価値をもつ企業集積の強化を進めるとともに、脱炭素化・デジタル化等による生産性の向上を促進し、企業の成長を促すことで、将来にわたって発展し続ける企業の育成及び産業の集積を目指す。



HiCity 内の産業交流空間 PiO PARK



デジタル受発注プラットフォームの推進体制

(1) 多様な主体の協業・参画を促し地域産業を成長させる事業

高い専門性を有する副業者等と区内企業を繋ぎ、地域産業の稼ぐ力の強化及び地域課題の解決を図るとともに、様々な主体が集積し交流することによるオープンイノベーションの促進を図る（SDGs人材ネットワーク構築・活用事業、HiCity/大田区内での実証実験促進事業）

(2) 中小企業等の自己変革への挑戦を促進し地域産業を成長させる事業

デジタル受発注プラットフォームを構築し、中小製造業のデジタル化及び稼ぐ力の強化を図る（デジタル受発注プラットフォームの構築・拡大事業）

(3) (1)、(2)以外の事業

企業立地・SDGs促進助成金、企業立地・SDGs促進サポート、事業承継・人材確保等支援事業

「豊島区地域産業活性化計画」(豊島区) 【計画期間:令和6年度～令和8年度】

小売業や飲食サービス業といった労働集約型の業種が集積している本区の産業構造の特性上、人手不足の影響を受けやすく、売上減少を招くなど区内事業者は厳しい状況に直面している。地域経済の活性化の実現に向け、中小企業者および伝統工芸の「販路拡大・売上拡大支援」、多彩なメニューから組み合わせ自由な補助制度を活用した「経営基盤強化」、地域全体で起業家をサポートする「起業支援・地域コミュニティの活性化」の3点を柱に、事業を展開する。



つながりを生む起業家交流会

将来像 多彩な人がつながり 発展し続ける産業都市 としま



実現を目指す10年後の地域産業の将来像

(1) 多様な主体の協業・参画を促し地域産業を成長させる事業

地域のあらゆる主体がつながることで、起業家や経営者の活気あふれる地域コミュニティ形成を目指す
(MONOづくりメッセ事業、コラボチャレンジ支援事業、起業家応援事業、空き店舗活性支援事業)

(2) 中小企業等の自己変革への挑戦を促進し地域産業を成長させる事業

新規開業や新商品開発への取組やデジタル化への支援を通じて、変革と成長を促進する(コラボチャレンジ支援事業、伝統工芸振興事業、空き店舗活性支援事業)

(3) (1)、(2)以外の事業

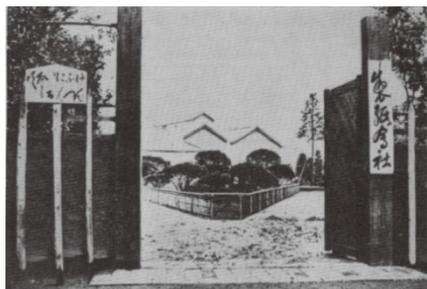
経営安定支援事業

「東京都北区地域産業活性化計画」(北区) 【計画期間:令和6年度～令和8年度】

本区の産業は比較的規模の小さい事業所が集積している。このため、個々の事業所単位によるプロモーションや情報発信は決して強いものではない。また、度重なるコストの上昇や、社会全体が環境問題等に関心が高まるにつれて、事業者の規模に関係なく社会の一員として強い規範が求められるなど、経営者は限られた経営資源の中で難しい舵取りを求められている。北区産業が直面している課題の解決を図るため、「Partnership(連携)―多様な主体との連携により、地域経済の好循環の形成」と「Change(変化)―人材育成・DXを核とした企業の成長支援」の2つの考え方に基づき、取り組んでいく。



令和5年度北区SDGs推進企業認証式の様子



渋沢栄一が北区王子に設立した抄紙工場(明治6年)

(1) 多様な主体の協業・参画を促し地域産業を成長させる事業

区外の自治体等との連携も含め、公民連携の仕組みを活用し、社会課題の解決と地域産業の活性化の両立を目指す(地方自治体等と連携した商店街の取組支援事業、SDGs達成に向けた取組促進事業)

(2) 中小企業等の自己変革への挑戦を促進し地域産業を成長させる事業

人材育成や経営のデジタル化、SDGsへの取組支援等を通じて、区内事業者の変革と成長を促進する(事業承継についての啓発、コミュニティビジネスへのチャレンジ家賃補助事業、IT・IoT導入チャレンジ支援事業、人材確保育成支援事業、地方自治体等と連携した商店街の取組支援事業、SDGs達成に向けた取組促進事業)

(3) (1)、(2)以外の事業

産業情報提供事業、地域産業の担い手育成事業

「日野市地域産業活性化計画」（日野市）【計画期間:令和6年度～令和8年度】

工業においては、事業所の廃業や移転が進み、企業間、企業と大学や産業支援機関等との連携の不足やデジタル化の遅れ等が課題となっている。一方、商業においては小売店を中心とした個店の減少、高齢化による担い手不足、事業承継問題、加えて、かつては市内商業の活性化を担っていた商店会組織の活動減少等、課題は多様化している。課題解決へ向け、様々な主体との連携促進による新たな事業や取組の創出、企業の競争力強化等に向けた成長支援が必要である。



日野市 SDGs 推進事業者交流会



日野市 SDGs 推進事業者交流会（基調講演）

(1) 多様な主体の協業・参画を促し地域産業を成長させる事業

様々な主体とのネットワークの強化、人材の確保等につながる支援、支援機関が持つノウハウの活用等を通して、多様性・柔軟性に富んだ産業の創出や市内の中小企業の経営力の向上を目指す（SDGs 推進による連携創出事業、商業ネットワーク構築事業、企業伴走支援事業）

(2) 中小企業等の自己変革への挑戦を促進し地域産業を成長させる事業

企業等の積極的な事業展開を後押しし、独自の技術や新たなサービス・製品の開発、操業環境の改善につながる支援を行う（SDGs 推進による連携創出事業、ステップアップ補助金、企業伴走支援事業、企業立地支援制度）

(3) (1)、(2)以外の事業

工業振興の基盤強化